

2015年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)

最終報告書



記入日 2015年 11月 30日

実践団体名		京都市立伏見工業高等学校システム工学科都市情報システムコース 課題研究・防災班		
連絡先		※代表： 桐生 喜崇 075-641-5121		
プランタイトル		まちづくり学習の取り組み(防災編)		
		番号*	詳細	
1 プランの対象者		10,16,18	伏見稲荷地区に住んでいる人、観光に来ている人を対象	
2 対象災害種別		1,3,6,7	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲリラ豪雨による浸水等の水害 ・地震時・火災時における対策 ・外国人観光客を対象に災害が発生した際、安全に避難行動を取るための行動提案 	
3 プランの目的		2,3,6,9	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細な地域防災マップの作成 ・地域の防災意識と現状を知る ・地域の避難経路および避難場所を知り、そのガイドマップの作成 ・活動を通して、防災や災害についての知識と対策方法を身につける 	
4 協力・連携先		1,4,5,9	<ul style="list-style-type: none"> ・稲荷学区自主防災会 ・京都市都市計画局まち再生・創造推進室 ・社団法人京都府建築士会 	
5 プログラムの種類		4	課題研究の授業での取り組み	
参考先進事例	活動年度	2008年	団体名	安田学園高校 建築クラブ
	参考内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や専門家との連携により、多くの木造耐震診断を行い、子どもたちが将来の防災の担い手として活躍してもらおう。 ・プレゼンテーション、成果発表を行い、多くの地元地域の方々に理解を得る。 ・高校では防災という科目が無く、教える機会がないため、木造耐震診断を行うことにより実践活動を通じて防災に関する知識を吸収し、意識を高めることができる。 		

※ 赤枠は別紙「記入上の留意点」の各項目から選択し、記入してください。

2015 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書



地域特性に応じた アレンジ・工夫点	<p>伏見工業高校の近くにある伏見稲荷大社は、観光地として日本の中でも有名です。日本人観光客だけでなく、外国人観光客も近年たくさん訪れています。そこで、地域住民だけでなく、土地勘もない情報弱者である日本人観光客や外国人観光客に対し、災害が起こった際にどのように安全に避難させるかにも焦点を当てた。</p>
実施スケジュール 内容・成果※	<p>4月 役割や分担、各自が取り組む内容を決定 5月 京都市市民防災センターでの校外学習 6-7月 稲荷エリアでのフィールドワーク・調査。各自が課題を設定し、伏見エリア地区で災害が発生したときにどのような事が起こるかを想定し、それに対する解決策を具体的に提示する。 9月 フィールドワークの中間発表 【成果】各自の調べた内容をパワーポイントでまとめる。 10月 外部講師によるワークショップ (1回) 11月 外部講師によるワークショップ (3回) 12月 外部講師によるワークショップ (1回) 【成果】自分たちが企画・デザインした安全に避難するための看板を完成させる。</p>
全体の反省・感想・課題	<p>地域の人々、伏見稲荷大社の協力を得ることができたが、行政との連携を取ってうまく取り組んでおらず、連携が今後の課題となった。また、地域住民と、伏見稲荷大社とは連携が取れておらず、このことを行政は把握していないことが、地域住民のアンケートや話し合いの結果分かった。地域の人々、伏見稲荷大社、行政をつなぐ役割を今後は果たしていきたい。</p>
今後の継続予定	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災マップの作成 ・避難経路を示す看板の制作 ・避難路のガイドマップを作成

※ 写真の添付など、枠内に収まらないときは裏面自由記述欄を使用してください。

2015年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書



自由記述欄 (必要に応じ、具体的な活動記録を自由様式で補足添付することが可能です。頁数自由)

□11月4日 外部講師(一級建築士)によるフィールドワークの様子



写真1



写真2

伏見稲荷地域にある看板の形状やどのような情報が載っているかの情報を集めている様子
(写真1・写真2)

□11月11・18日 外部講師(一級建築士)によるワークショップの様子



写真3



写真4



写真5

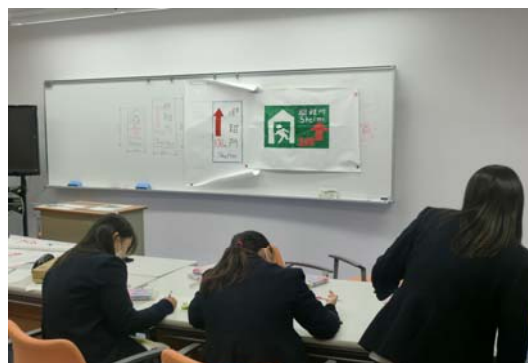


写真6

外部講師による授業の様子(写真3)

自分たちがデザインした看板を、外部講師の指導のもと実際に形にしていく様子(写真4)

実際にデザインした看板の文字の大きさと距離を確認している様子(写真5)

自分たちがデザインした看板のサイズと感想を記入している様子(写真6)

2015年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書 記入上の留意点



最終報告書の作成にあたり、赤枠の項目について、以下を参照し該当番号を記入し、具体名称等を詳細欄に記入をお願いします。

「その他」を選択した場合は、詳細欄に具体的内容を記入してください。

1. プランの対象者について (複数選択可)

項目		項目		項目	
1	幼児・保育園児・幼稚園児	8	教職員・保育士等	15	高齢者
2	小学生(低学年)	9	保護者・PTA	16	海外
3	小学生(高学年)	10	地域住民	17	防災関係者
4	中学生	11	社会人・一般	18	全ての人々
5	高校生	12	女性	19	その他 ()
6	大学生	13	障がい者		
7	外国人留学生	14	養護学校児童生徒		

2. 対象災害種別について

項目		項目	
1	地震	5	不審者・犯罪被害
2	津波	6	火災
3	水害	7	災害全般
4	火山噴火	8	その他 ()

3. プランの目的について

項目		項目	
1	遊び・楽しみながらの防災	6	防災に関する知識を深める
2	防災に役立つ資料・材料づくり	7	技術を身につける
3	災害に強い地域をつくる	8	防災意識を高める
4	災害を想定した訓練	9	災害対応能力の育成
5	災害を疑似体験	10	その他 ()

4. 協力連携先

項目		項目	
1	学校・教育関係	6	企業・産業関連の組合等
2	同窓会組織	7	ボランティア団体・NPO法人・NGO等
3	保護者・PTAの組織	8	職業、職能団体
4	地域組織	9	学術組織、学会等
5	国・地方公共団体等	10	その他 ()

5. プログラムの種類について (複数選択可)

項目		項目		項目	
1	イベント・行事	7	学校内クラブ活動	13	体験学習
2	講習会・学習会・ワークショップ	8	その他学校内での時間	14	読書・絵本・読み聞かせ
3	講演会・シンポジウム	9	校外学習・移動教室	15	演劇
4	総合的な学習の時間	10	家庭学習	16	避難・防災訓練
5	教科学習	11	出前授業	17	その他 ()
6	学級活動	12	研究		